



動物の名前の出てくる地名は各地にあるが「鳥」が気に掛か

鳥手は大正北ノ川から相去川を逆上るところにあり現在は14世帯の里である。地区の田んぼは基盤整備され、その中でピニールハウスの占める割合が高く、苺やスプレー菊等を栽培している専業農家が多い。苺栽培においては歴史があり先駆的な役割を果たしてきたという。「この地区はまとまりの良い所よ」と話を聞くことができた。中山間等直接支払制度をいち早く取り入れ、用排水の管理や農業機械の共同利用など旧大正地区でも最も早く取り組んで来ている。稲作では乾燥機等をおのおのが持っているが、それらを一つにした集落営農も視野に入れている。後継者も数人いてうらやましい里であり、しかも嫁取り候補者が5人もいるという。未来に希望の見える里、鳥手。



イノシシ柵

川がきれいですな、蛭は？乱舞の見える日があるという。知る人ぞ知る、隠れた蛭の里。秋とはいえ、夏の余韻が残る陽気。相去川の川風に涼を求めた。

氏神様は「弓場神社」という。この瓦もおもしろい。両方の庇止めに虎が吠えている。「弓場の神様、猪が出て難儀致しております。出る夜は、お宅の虎をお解きになり追いかけてください」虎を見てそうお祈りさせていただきました。



氏神様の吠える虎

猪、鹿は？「我もの顔よ！」相去川の兩岸は山の連続。出ない方が不思議でこの地区も他の地区同様に唐の城。ぐるりを柵で囲んでいる。

地名の鳥は小石の土地、手は本村からの分村の意味といわれると、町誌にあった。又、戸数人口の推移表からは、戸数10数戸の世帯が現在まで続いていることが読みとれる。

町のうごき

9月30日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	9,296	8	男 5	13	9	9
女	10,417	13	女 5	12	9	15
計	19,713	- 21	計 10	25	18	24
世帯数	8,828	- 2	9月中の届出)			

四万十川の水質状況

	適正值 mg/L	9月10日
リン酸	5.0	測定値以下
硝酸	0.5	測定値以下
アンモニウム	5.0	測定値以下
アニオン活性剤	1.0	0.100
化学的酸素消費量	10.0	2.037

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)

調査：大正(吾川)  
資料：四万十高校自然環境部